方向

中野鈴子

青空文庫

わたしはこの頃しきりに考える
自分というものについて
わたしは下宿の二階に兄のくれる金で暮らしている
それはわずかな金だ
けれども兄の彼が夜ヒル書きつづける血のしたたりなのだ
わたしはそれで米や炭をととのえ腹を満たしている

わたしの仕事は詩を書くこと、文学の途をゆくことになっている
わたしは机に向かって本を読む
あるいは書こうとする　けれども書けない
わたしはうっ伏して足りない才能をかなしむ
心はたぎっても現わせない
わたしは本を伏せ　インクのふたも忘れて外へ飛び出す
友だちのところではなす
一日一日は過ぎてゆくばかり
怒った父はいま手紙をくれ、母は衣服を送ってよこす
わたしはみんなに支えられている
時間は全部一人のもの
生活費さえあたえられて
みんなは働いている
子供が夜店に絵本を売っている
失業者がうえ死にしている

わたしはうろうろと居食いをしなければならないか
文学の途は遠くひらけている
現実が下がっている
未来の夢が呼びかける
ある作家の言葉を思い出す
物書きはいい　たとえ足やハナが欠けていても
屋根裏ででも紙とペンさえあれば書きあらわせる
書くことによって人は苦しみから立ち上がって行ったのだと言うことを……

一行の詩
一つの断片でもいい
薄き智能をけずり
書きつづらねばならないだろう

青空文庫情報

底本：「中野鈴子全詩集」フェニックス出版
　1980（昭和55）年4月30日初版発行
底本の親本：「中野鈴子全著作集　第一巻」ゆきのした文学会
　1964（昭和39）年7月10日発行
初出：「詩人　第三巻第六号」文学案内社
　1936（昭和10）年6月1日発行
入力：津村田悟
校正：夏生ぐみ
2018年12月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

方向

中野鈴子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/